

金ヶ崎町社会教育指導員研修会(7月)

各地区生涯教育センターで行う講座や学級等について、企画実施するうえでどんなことを大事に考えていくべきかを、国の施策展開に関する講義や、持ち寄った現状の事業プログラムの見直しの検討などを通して考えました。

それにより、社会教育指導員の役割と地域の教育力向上について理解を深めました。

◆講義「深い学びを支える社会教育、公民館」

文部科学省生涯学習政策局社会教育課 課長補佐 佐藤秀雄氏より、地区生涯教育センターでの住民の学びの重要性と、それに伴う職員の仕事等について国の動向や施策を交えながら講義をいただきました。

氏は、「社会教育は人、社会教育を進める上で人が大事」と地域住民を巻き込んだ社会教育の推進やそのための指導員の力量の大切さを強調されました。

特に、課題解決に向けて何を学んでいくようにさせるのか、といった住民の力を課題解決に向けていく仕掛けや、それに伴う指導員の取組みの重要性にもふれられていました。



文部科学省生涯学習政策局社会教育課
課長補佐 佐藤秀雄 氏

◆講義・演習「事業プログラムの見直し、企画・運営について」



講義・演習「事業プログラムの見直し、企画・運営について」

当センター社会教育主事 下久根を講師とし、各地区センターで実施している講座や学級等の事業プログラムの見直しについての講義・演習を行いました。

各自が講座・学級等の運営や企画で悩んでいることや意見等聞きたいこと等を持ち寄り、その事業プログラムの問題点・課題について意見交換を行いました。更に、改善を図るためにはどうすべきかも考えました。お互いが気づいた点を話し合い、「色々な意見を聞いて勉強になった」「自身の悩みも話せて良かった」等の感想が聞かれました。

また、各自が持ち寄ったプログラムの中から、すべての地区センターで実践できる共通のプログラムをグループごとに選びました。次回は、選んだプログラムについて具体的に企画していくことになります。

《受講者の声》

- 一人では悩みながら事業を企画してきたが、この研修で色々な意見を聞くことができ、自信をもって取り組める気がしてきた。
- 普段から、気軽に相談できる環境があると良いと思った。
- 仕事をしていて見えない部分や煮詰まった部分を、たくさんほぐしてもらった。私自身も、他の方のそういう存在になれるように努めたい。
- 難しかった。

《受講者の評価》

A (有意義)	76.9%
B (どちらかといえば有意義)	23.1%
C (どちらかといえば有意義でない)	0%
D (有意義でない)	0%

《担当者(下久根)から》

研修を企画する上で、参加者の希望と、知っていてほしいこと、町としての要望等を兼ね備えた研修内容の構成に難しさを感じています。